様式第3号（第4条関係）

会議録

1.附属機関等の会議の名称

　　平成30年度　第1回松川町資料館運営委員会

2.開催日時

　　平成30年6月11日（月）　17時00分から18時15分まで

3.開催場所

　　資料館　視聴覚室

4.出席者氏名

　資料館運営委員

　　坂 本 勇 治　熊 谷 宗 明　上 松 一 成　清 水 稔 子　亀 山 勝 保　伊 藤 頼 人

竹 村 光 雄　北 原 紀 子

　事務局

高坂教育長　小木曽生涯学習課長　望月係長　松下主事　伊坪主事

5.議題

・平成30年度松川町資料館事業計画（案）について

・副読本の内容について

6.傍聴人の数

　なし

7.会議資料の名称

　・平成30年度　第1回松川町資料館運営委員会資料

　・ふるさと学習副読本『ふるさと　松川町』　構想No.2

8.審議の概要

教育長あいさつ

運営委員長・職務代理　選出　　運営委員会長 坂本 勇治　職務代理 伊藤 頼人

新運営委員長あいさつ

平成30年度松川町資料館事業計画（案）について

－事務局より説明－

委員A：副読本の内容について、松川町民でもここまで詳しく知っている人は少ないだろう。

力の入ったものになるのではないか。

委員B：特別展について、展示スペースが現状なかなか使われていないのではないか。

事務局：スペースが小さくても使えるようアピールしていきたい。また公民館の展示スペースに

展示が入りきらないときに利用してもらうなど連携していきたい。

委員B：松尾隆康さんの仏画と縁起絵展には何人訪れたか。

　　　　平成29年度は5～6日で100人ほどの来館者が来た。平成28年度は70人ほどだった。

委員B：もっとアピールをしていくべきではないか。

委員A：広告の仕方で大きく変わるのではないか。

事務局：新聞記事に載せてもらうなど効果的な宣伝も行っていきたい。

委員C：松川の歴史を知ることは地元に親しみを持ってもらう意味でも重要だ。副読本の編集は

大変だが進めていってほしい。東小学校や、昔あった学校についても取り上げてほしい。

委員D：小学生の主に高学年が対象になっているが、魅力を感じるように作ってほしい。

　　　　副読本について

　　　　・住民の方の協力が大切ではないか。

　　　　・副読本制作に子どもたちも関わってもらうのはどうか。

　　　　・果樹などについては農協などに協力してもらってはどうか。

　　　　・チャンネルユーと協力し、ドローンで撮影してもらうのはどうか。

委員E：子どもたちに関わってもらうのは賛成だ。副読本は長く学習に使える内容になっていていいと思う。

副読本について

・写真、図、地図をたくさん使用してほしい。地図記号など使うと子どもたちの発見につながるだろう。

　　　　・副読本作成には教職員も協力していくということだが、教員は町外の人が多い。副読本作成に向けてどんなことを担ってもらうのか検討してほしい。

委員F：子どもだけでなく、大人も活用できるものにしてほしい。

委員A：統計については商工会で情報をもらえるのではないか。

事務局：自分の住んでいる土地の話と重なると愛着がわくのではないか。それぞれの地域について

詳しく入れたいが内容が多くなってしまうのでその兼ね合いもある。

委員A：本が厚いと取つき難くなってしまう。一つの項目を深く取り上げるだけでも多いものになる。

委員D：ポイントごとにまとめるか章ごとにまとめるか検討が必要だ。

委員D：大島城の伝説など、地域の様々な伝説など興味が出るのではないか。

事務局：ページ数が多くならないようにしながらなるべく入れていきたい。

委員B：ツツザキヤマジノギクは松川町にしかないのか。

事務局：ツツザキヤマジノギクは本来山に生息していたものが、環境の変化により河原に生息している。現在の調査では松川町でしか確認されていない。

委員B：町のシンボルになる。もっとアピールしていくべきだ。

事務局：アピールしていきたい。副読本においてはトピックスで載せたい。

委員A：防火デーの日程が決まったら教えてほしい。

事務局：日程が決まり次第伝える。

次回3月に開催予定